

統計を調べる

統計は、調査研究やビジネスなどの様々な場面で活用されています。ただし、数多くの統計が存在するため、何をみればよいか、どう探せばよいかお困りの方も多いため、そんなときはどうぞ図書館をご利用ください。

統計には、国が実施する政府統計と民間企業等が実施する民間統計があります。

政府統計は対象範囲が広く、大規模な調査が定期的に行われています。民間統計では、政府統計ほど対象範囲は広くありませんが、政府統計では調査されない詳細な項目があり、ピンポイントの情報を探す際に役立ちます。

※【 】は本の背ラベルにある請求記号です。【一般】は一般図書室（1階）、【郷土】は郷土資料室（2階）にあります。

■【STEP1】：統計書で調べる（広範囲な統計が1冊にまとめた資料で調べる）

【鳥取県】

- 『鳥取県統計年鑑 平成29年刊』（鳥取県地域振興部統計課 2018.1）【350/1/郷土】
★インターネットで公開 <http://www.pref.tottori.lg.jp/36885.htm>
人口、気象、産業、災害・事故、教育・文化・宗教など30の章からなっています。
インターネットで公開されており、明治14年から現在までのデータを見ることができます。

- 『100の指標からみた鳥取県 平成29年版』（鳥取県地域振興部統計課 2018.2）【350/22/郷土】
★インターネットで公開 <http://www.pref.tottori.lg.jp/100indices/>

自然環境、人口・世帯、経済基盤、財政など地域のすがたを示す基本データを収録しています。

- 鳥取県の数値を他の都道府県の数値と比較しランキングで表す。
項目ごとの鳥取県のランキングが一目瞭然。

●上記2つの統計へのアクセス方法 ➡

[鳥取県のホームページ](#) > [県の組織と仕事](#) > [地域振興部統計課](#) > [統計データ（統計課公表）](#)

【日本】

- 『日本統計年鑑 第67回（平成30年）』（総務省統計局 2017.11）【351/ニホ/一般】
★インターネットで公開 <http://www.stat.go.jp/data/nenkan/index1.html>
官公庁や民間調査機関などが公表した統計の中から、人口、経済、社会、文化などの広範な分野にわたる基本的な統計データを収録しています。

●アクセス方法 ➡ [総務省統計局](#) > [統計データ](#) > [分野別一覧](#) > [日本統計年鑑](#)

- 『民力2015』（朝日新聞出版 2015.8）※都道府県、市町村別のデータあり。【351/ミリ/一般】
人口、土地、産業、建設・住宅、運輸・通信などの統計が掲載されています（都道府県別データ）。
この他、30の主要指標については都市圏・市町村別のデータも掲載されています。
●1965年から所蔵あり。過去の統計書を利用することも可能。

- 『データでみる県勢 2018年版』（矢野恒太記念会 2017.12）※都道府県、市町村データあり。
【351/ケン/一般】

「府県のすがた」「府県別統計」「市の統計」「町村の統計」の4部で構成されており、人口、労働、産業など、地域を知ることができる基本的な統計が収録されています。「府県のすがた」には、府県別に経済指標、生活指標、人口や行政データなどの統計データが見開き2ページで紹介されています。

- 1989年から所蔵あり。過去の統計書を利用することも可能。

この他にも、『日本統計年鑑』より収録数は少ないですが、基本的な統計を選んでコンパクトにまとめた『日本の統計 2017』（総務省統計局 2017.3）や、主要統計とグラフや解説で構成された『日本国勢図会 2017/2018』（矢野恒太記念会 2017.6）等もあります。

【世界】

- ・『国際連合世界統計年鑑 2017』（原書房 2017.12）【350.9/㊦イ/一般】
世界各国の人口、農・工・商業、社会、文化、教育などの統計が掲載されています。
☛ 1952より所蔵あり。（ただし欠号あり。1953～1965、1967、1969、1971～1975、1978）
- ・『世界国勢図会 2017/2018』（矢野恒太記念会 2017.9）【350.9/㊦イ/一般】
世界の国々、経済成長と国民経済計算、農林水産業、軍備・軍縮、情報通信・科学技術などの13章からなります。章ごとに社会・経済情勢の簡単な解説がついています。
☛ 1952より所蔵あり。（ただし欠号あり。1953～1965、1967、1969、1971～1975、1978）

■【STEP 2】：統計書で調べる（個別の統計結果をまとめた資料で調べる）

統計調査は調査結果を冊子として発行しています（インターネットのみの公開の場合もあります）。特定の項目について詳しく調べるとき、統計調査名が分かっている場合は、図書館の所蔵検索画面でタイトルに調査名を入力してみてください。

- ★所蔵している統計資料例・・・『国勢調査年報』『経済センサス』『農林業センサス』『経済産業省生産動態統計年報』『家計調査年報』

■【STEP 3】：インターネットで調べる

▼探しているデータがどの統計にあるかわからないとき

統計を調べるとき、探しているデータがどの統計で調査されているかわからない時があります。そんな時に活用したいのが「政府統計の総合窓口」(e-Stat)です。各省庁が実施した政府統計を横断的に検索することができるポータルサイトです。

- アクセス方法：google や Yahoo などのサーチエンジンより、「政府統計の総合窓口」と入力。

キーワードから検索することもできます。気になるキーワードを入力し検索。該当する項目がヒットすれば、その統計の調査結果を表示することができます。

- ☛ 統計で使われている語彙は日常の言葉の使い方と異なるケースがあります。
ヒットしない場合はキーワードを変えてみると見つかることがあります。

▼探している統計の調査名がわかっているとき

サーチエンジンに統計調査名を入力すると、調査結果を見られることがあります。

- ☛ 探している統計を実施している所管官庁がわかっているときには、省庁のホームページをご覧ください。統計はホームページで公開されています。省庁のホームページには統計をまとめたページがありますので、関連する他の統計を一覧でみるすることができます。

このリストで紹介した情報は一例です。お探しの情報が見つからない、探し方が分からない等、お困りの方は職員におたずねください。当館にない資料等も他の図書館から取り寄せることも可能です。
お気軽にご相談ください。問合せ先：鳥取県立図書館（電話：0857-26-8155）（作成：2018.3.20）